

事案名	相模湾の事案（神奈川県145）
分類	廃棄・遺棄
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「西さがみ庶民史録」1984年第8号〔1〕 ・「西さがみ庶民史録」1991年第27号〔2〕 ・「旧軍毒ガス弾等の全国調査結果報告（案）」資料2の2〔3〕 ・証言及び自叙伝「包丁と人生」〔4〕
資料内容概要	<p>昭和20年8月15日、直径30cm、長さ1mの鉄製筒型容器7～8本（イペリット）を、相模湾の真鶴沖と初島の間海中に投棄したとされる。また、同年頃、平塚海軍火薬工廠の格納庫にあった爆弾を、相模川河口より沖合いで投棄したと証言がある。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町の民間企業に疎開中の第六陸軍技術研究所に勤務していた人の証言として、昭和20年8月15日に舟艇で相模湾の真鶴沖と初島の間、直径30cm、長さ1mの鉄製筒型容器7～8本（イペリット）を海洋投棄したとの記述がある〔1〕〔2〕。 ・昭和20年8月に相模湾にイペリット、ルイサイト計2tを海中投棄したとの記載がある〔3〕。 ・昭和20年頃、平塚海軍火薬工廠の格納庫にあった爆弾を船に積み込み、相模川河口より沖合いで投棄したが、「中には猛毒ガスの爆弾を共に捨てたと思います」と証言している〔4〕。